

大分大学理工学部履修規程

平成29年4月1日制定

平成29年理工学部規程第2号

(趣旨)

第1条 この規程は、大分大学学則（以下「学則」という。）第19条第4項の規定により、大分大学理工学部（以下「本学部」という。）の教育課程の編成、履修方法等に関し必要な事項を定める。

(教育課程)

第2条 本学部の教養教育科目は、全学共通科目、外国語科目及び身体・スポーツ科学科目に区分する。

3 本学部の専門教育科目は、必修科目及び選択科目に区分する。

(卒業要件)

第3条 本学部所定の教育課程の修了に当たり、別表第1に定める教養教育科目及び専門教育科目に区分された授業科目の単位を修得し、かつ、同表に定める累積成績指標値（全学期を通した1単位当たりの成績の平均値をいう。）の基準を満たさなければならない。

2 本学部に3年以上在学した者が前項に規定する単位を優秀な成績で修得したものと認められる場合は、本学部所定の教育課程を修了したものとすることができる。

(授業科目及び履修方法)

第4条 教養教育科目の授業科目及び履修方法は、別表第2のとおりとする。

2 専門教育科目のプログラム別授業科目及び履修方法は、別表第3のとおりとする。

3 専門教育科目の履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

(履修手続)

第5条 学生は、各学期始めの所定の期日までに、その学期において履修しようとする授業科目を、別に定める様式により学部長に届け出なければならない。

2 学生が各学期において履修登録することができる単位数の上限は、別に定める。

(成績評価基準等)

第6条 履修した科目の成績の評価は定期試験及び中間試験、授業等の出席状況、学習状況、学習報告等を総合して行うものとする。

2 学修の成績評価については、大分大学における学修の成績評価基準等に関する規程（令和3年規程第21号）の定めるところによる。

(成績指標算定における評価点)

第7条 成績指標算定における評価点は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) S 4点
- (2) A 3点
- (3) B 2点
- (4) C 1点
- (5) F+ 0点

(6) F 0点

(追試験)

第8条 病気、忌引、就職試験その他のやむを得ない事情により定期試験等を受験できなかった者に対し、本人の願い出により追試験を許可することがある。

- 2 追試験を希望する者は、所定の願書にその理由に応じて医師の診断書、就職試験先の受験証明書その他の証明書を添付の上、欠席した試験日の翌日から起算して7日以内（期間の末日が土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する祝日並びに12月29日から翌年の1月3日までの日（以下「休日」という。）の場合は、直後の休日でない日を期限とする。）に学部長に願い出なければならない。

(再試験)

第9条 定期試験及び追試験において再試験の評価を受けた科目については、再試験を受けることができる。

- 2 再試験は、次の学期末までに担当教員の指示により実施するものとする。ただし、卒業予定者の再試験については、当該学期の別に定める日までに実施するものとする。

(学業不振に関わる嚴重注意等)

第10条 学期成績指標値（当該学期における1単位当たりの成績の平均値をいう。）又は修得単位数が別に定める数値を満たさない場合は、学生に対し、学業不振に係る注意又は学業不振に関わる嚴重注意を行うものとする。

(免許等)

第11条 教育職員免許状、電気主任技術者免許及び無線従事者免許を取得する場合は、所定のプログラムに所属し、所定の科目を修得しなければならない。

- 2 上記の所定の科目については、別に定める「各種資格等の取得要領」に基づくものとする。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、教育課程の編成、履修方法等に関し必要な事項は、学部長が別に定める。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年理工学部規程第1号）

この規程は、平成31年2月6日から施行する。

附 則（令和3年理工学部規程第3号）

この規程は、令和3年6月9日から施行する。

附 則（令和4年理工学部規程第3号）

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日の前日に在学している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については、改正後の大分大学理工学部履修規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和5年理工学部規程第3号）

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

- 2 この規程の施行の日の前日に在学している学生の授業科目，単位数及び履修方法並びに免許等の取得方法については，改正後の大分大学理工学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和6年理工学部規程第5号）
この規程は，令和6年2月7日から施行する。

- 附 則（令和6年理工学部規程第6号）
- 1 この規程は，令和6年4月1日から施行する。
 - 2 この規程の施行の日の前日に在学している学生の授業科目，単位数及び履修方法並びに免許等の取得方法については，改正後の大分大学理工学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和7年理工学部規程第1号）
この規程は，令和7年4月1日から施行する。

別表第 1（第 3 条関係）

卒業に必要な最低修得単位数・累積成績指標値

1. 数理科学プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目	4	18	必修 80 単位, A選択 18 単位を 含む 98 単位以上	
	共通専門科目	10			
	プログラム群共通専門科目	12			
	プログラム専門科目	50			
	副専門科目 (注 3)	4			
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 B」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

2. 知能情報システムプログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目	12	13	必修 85 単位, A 選択 13 単位を 含む 98 単位以上	
	共通専門科目	10			
	プログラム群共通専門科目	22			
	プログラム専門科目	37			
	副専門科目 (注 3)	4			
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 B」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

3. DX人材育成基盤プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目		12	12	必修 86 単位, A選択 12 単位を 含む 98 単位以上
	共通専門科目		10		
	プログラム群共通専門科目		22		
	プログラム専門科目		38		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.8 以上

注 1 「理工学入門 B」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

4. 物理学連携プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語Ⅰ	4		
		英語Ⅱ	2		
専門教育科目	基盤教育科目		24	13	必修 85 単位, A選択 13 単位 を含む 98 単位 以上
	共通専門科目		18		
	プログラム群共通専門科目		14		
	プログラム専門科目		25		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 B」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

5. 電気エネルギー・電子工学プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 A (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目		16	14	必修 84 単位, A選択 14 単位を 含む 98 単位以上
	共通専門科目		8		
	プログラム群共通専門科目		18		
	プログラム専門科目		38		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

6. 機械工学プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 A (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語Ⅰ	4		
		英語Ⅱ	2		
専門教育科目	基盤教育科目		16	8	必修 90 単位, A選択 8 単位 を含む 98 単位 以上
	共通専門科目		15		
	プログラム群共通専門科目		12		
	プログラム専門科目		43		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

7. 知能機械システムプログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・ 日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 A (注 1)	(2)		
		理工学入門 C (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目		16	10	必修 88 単位, A選択 10 単位を 含む 98 単位以上
	共通専門科目		8		
	プログラム群共通専門科目		13		
	プログラム専門科目		47		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 C」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

8. 生命・物質化学プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 A (注 1)	(2)		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語Ⅰ	4		
		英語Ⅱ	2		
専門教育科目	基盤教育科目		6	38	必修 60 単位, A選択 38 単位 を含む 98 単位 以上
	共通専門科目		8		
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目		42		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 B」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

9. 地域環境科学プログラム

科目区分			単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2		
		データサイエンス入門	1		
		理工学入門 A (注 1)	(2)		
		理工学入門 B (注 1)	(2)		
	外国語科目	英語Ⅰ	4		
		英語Ⅱ	2		
専門教育科目	基盤教育科目		10	15	必修 83 単位, A 選択 15 単位 を含む 98 単位 以上
	共通専門科目		18		
	プログラム群共通専門科目		8		
	プログラム専門科目		43		
	副専門科目 (注 3)		4		
卒業に必要な最低修得単位数					124 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 B」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

10. 建築学プログラム

科目区分			単位数			必要単位数
			必修	A 選択	S 選択	
教養教育科目	・ 全学共通科目 スポーツ文化科学 ・ 日本語・ 日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1			左記を含む 26 単位以上 (注 2)
		理工学導入	2			
		データサイエンス入門	1			
		理工学入門 A (注 1)	(2)			
		理工学入門 B (注 1)	(2)			
	外国語科目	英語Ⅰ	4			
		英語Ⅱ	2			
専門教育科目	基盤教育科目		16	4		必修 88 単位, 基盤 教育科目及び共通 専門科目の A 選択 4 単位, プログラム 群共通専門科目及 びプログラム専門 科目の S 選択 8 単 位を含む 100 単位 以上
	共通専門科目		4			
	プログラム群共通専門科目		38	8		
	プログラム専門科目		26			
	副専門科目 (注 3)		4			
卒業に必要な最低修得単位数						126 単位以上
累積成績指標値						1.0 以上

注 1 「理工学入門 A」,「理工学入門 B」はどちらか選択必修。

注 2 教養教育科目 26 単位には,「大分を創る」(テーマ)科目 2 単位以上,主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。

注 3 選択必修科目。専門教育科目の「基盤教育科目」,「共通専門科目」,「プログラム群共通専門科目」,「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で,副専門科目対象科目の中から 4 単位。

教養教育科目

区 分	授 業 科 目	単位数		成 績 指 標 制 度	履 修 上 限 制	週授業時間数				卒業に必要な 最低修得単位数
		必 修	選 択			1 年次		2 年次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	
●全学共通科目 スポーツ文化科学 ●日本語・日本事情科目 (日本人は履修不可)	大分大学入門	1		○	○	1				左記を含む 教 養 教 育 科 目 26 単位以上
	理工学導入 (「大分を創る」テーマ)	2		○	○	2				
	データサイエンス入門	1		○	○	1				
	理工学入門A※	2	※ い ず れ か 選 択 必 修	○	○		2			
	理工学入門B※									
	理工学入門C※									
外国語科目	英 語 I	4		○	○	4	4			
	英 語 II	2		○	○			2	2	
・教養教育科目 26 単位には、「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上、主題「福祉・地域」2 単位以上を含むこと。 ・その他の科目については、「教養教育科目ガイドブック」に定める。 ・履修上制限は対象科目。(ただし、集中講義及び「スポーツ文化科学」を除く。) ・成績指標制度は対象科目。 ・「理工学導入」、「理工学入門A・B・C」は、教養教育科目の 6 単位制限の除外科目。										

英語の検定試験等の単位認定について

英語の検定試験等に合格した場合は、その成績により本学の単位として認定し、認定された単位は卒業要件単位に換算することができます。認定を希望する学生は、学務係まで申し出てください。

実用英語 技能検定	TOEFL iBT	TOEIC (L&R) (TOEIC IP を含む)	GTEC	IELTS	認定内容		
					認定科目	認 定 単位数	成 績 評価
CSE スコア 2600 以上	95 以上	900 以上	1350 以上	7.0 以上	英語 I	4	S
CSE スコア 2300 ～2599	72～94	730～895	1190～1349	5.5～6.5	英語 I	2	S

①数理科学プログラム
○カリキュラム表

科目 区分		授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上制限	週授業時間数								備考	教職 課程 科目
							1 年		2 年		3 年		4 年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	基 盤 教 育 科 目	力学	2	◎	○	○	2									
		原子と分子	2	◎	○	○	○	2								
		物質の状態と変化	2	○	○	○	○		2							
		言語思想論	2	○	○	○	○			2						
	共 通 専 門 科 目	波動と光	2	○	○	○	○		2							
		解析力学	1	○	○	○	○		1							
		基礎理工学PBL	2	◎	○	○	×				2					
		応用理工学PBL	2	◎	○	○	×					2				
		技術者倫理	2	◎	○	○	○					2				
		音メディア処理	2	◎	○	○	○					2				
		人工知能基礎	2	◎	○	○	○						2			
		科学英語表現法	2	○	○	○	○						2			
		インターンシップA	1	○	×	×	×					1				
		インターンシップB	2	○	×	×	×					2				
		起業家養成講座	2		×	×	×	2								
	プ ロ グ ラ ム 群 共 通 専 門 科 目	情報科学A	2	◎	○	○	○	2								必
		情報科学B	2	◎	○	○	○		2							選
		情報科学B展望	2	◎	○	○	○		2							選
		幾何学A	2	◎	○	○	○				2					必
		応用数学A	2	◎	○	○	○				2					選
		統計科学A	2	◎	○	○	○					2				必
		プログラミング演習	2	○	○	○	○			4						
		マルチメディア処理	2	○	○	○	○				2					
		マルチメディア処理演習	1	○	○	○	×				2					
		コンピュータグラフィックス	2	○	○	○	○					2				
		データベースシステム	2	○	○	○	○					2				
		データベース演習	1	○	○	○	×					2				
		統計科学B	2	○	○	○	○						2			選
		応用数学B	2	○	○	○	○						2			選
		ヒューマン・インタフェース	2	○	○	○	○				2					
		ウェブサイエンス	2	○	○	○	○						2			
		統計科学C	2	○	○	○	○							2		
	プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	解析学1	2	◎	○	○	○	2								選
		代数学1	2	◎	○	○	○	2								選
		解析学2	2	◎	○	○	○		2							選
		代数学2	2	◎	○	○	○		2							選
		解析学3	2	◎	○	○	○			2						
		代数学3	2	◎	○	○	○				2					
		数理科学概論	2	◎	○	○	○				2					
		解析学1展望	2	◎	○	○	○				2					選
		代数学A	2	◎	○	○	○				2					必
		解析学A	2	◎	○	○	○				2					必
		解析学4	2	◎	○	○	○					2				
		解析学2展望	2	◎	○	○	○					2				選
		代数学A展望	2	◎	○	○	○					2				選
		数理科学輪講A	3	◎	○	○	×						3			
		キャリア開発指導	2	◎	×	×	×						1	1		
		幾何学A展望	2	◎	○	○	○						2			選
		解析学A展望	2	◎	○	○	○						2			選
		応用数学A展望	2	◎	○	○	○						2			選
		数理科学輪講B	3	◎	○	○	×							3		
		数理科学英語	2	◎	○	○	×							2		
		卒業研究	8	◎	○	○	○								12	12
		数理科学特別講義A	2	○	×	×	×			2						
		数理科学特別講義B	2	○	×	×	×			2						
		代数学B	2	○	○	○	○					2				選
		幾何学B	2	○	○	○	○						2			選
		解析学B	2	○	○	○	○						2			選
		代数学C	2	○	○	○	○							2		
		幾何学C	2	○	○	○	○							2		
		解析学C	2	○	○	○	○							2		
		応用数学C	2	○	○	○	○							2		
必修科目			76単位													
A選択科目			50単位													
B選択科目			2単位													

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。
・ A選択科目＝単位を修得した場合，卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・ B選択科目＝単位を修得した場合，卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。
注3「履修上制限」欄の○は履修上制限対象科目，×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許取得にあたっての必修科目，「選」は選択科目を表す。

数理科学プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		64 (注2)		必修 64 単位以上を含む 78 単位以上 (副専門科目は上限4 単位)
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）				
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					102 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」，「共通専門科目」，「プログラム群共通専門科目」，「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目の必修科目 64 単位の中には「数理科学輪講 A」，「数理科学輪講 B」を含むこと。

数理科学プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む 24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単 位以上を含むこと
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		46		必修 46 単位以上を含 む 58 単位以上 (副専門科目は上限4 単 位)
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注）				
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					82 単位以上
累積成績指標値					3.5 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」，「共通専門科目」，「プログラム群共通専門科目」，「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

②知能情報システムプログラム
○カリキュラム表

科目 区分	授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目
						1 年		2 年		3 年		4 年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基盤教育科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2									
	基礎代数学1	2	◎	○	○	2									
	基礎解析学2	2	◎	○	○		2								
	基礎代数学2	2	◎	○	○		2								
	基礎解析学3	2	◎	○	○			2							
	基礎代数学3	2	◎	○	○			2							
	力学	2	○	○	○	2									
	原子と分子	2	○	○	○	2									
	物質の状態と変化	2	○	○	○		2								
	微分方程式	2	○	○	○			2							
	複素関数	2	○	○	○			2							
	ベクトル解析	2	○	○	○				2						
	フーリエ解析	2	○	○	○				2						
	確率・統計解析	2	○	○	○				2						
共通専門科目	音メディア処理	2	◎	○	○			2							
	基礎理工学PBL	2	◎	○	○				2						
	応用理工学PBL	2	◎	○	○					2					
	技術者倫理	2	◎	○	×					2					
	人工知能基礎	2	◎	○	○				2						
	図学	2	○	○	×	2									
	波動と光	2	○	○	○		2								
	機械工学概論	2	○	○	○			2							
	科学英語表現法	2	○	○	○						2				
	インターンシップA	1	○	×	×					1					
	インターンシップB	2	○	×	×					2					
	起業家養成講座	2		×	×	2									
	プログラム群共通専門科目	情報科学A	2	◎	○	○	2								必
		情報科学B	2	◎	○	○		2							必
情報科学B展望		2	◎	○	○		2							選	
プログラミング演習		2	◎	○	○			4						選	
応用数学A		2	◎	○	○				2						
幾何学A		2	◎	○	○				2						
マルチメディア処理		2	◎	○	○				2					必	
ヒューマン・インタフェース		2	◎	○	○				2						
統計科学A		2	◎	○	○					2					
データベースシステム		2	◎	○	○					2				必	
応用数学B		2	◎	○	○						2				
マルチメディア処理演習		1	○	○	○					2				必	
コンピュータグラフィックス		2	○	○	○					2				選	
データベース演習		1	○	○	○					2				選	
プログラム専門科目	統計科学B	2	○	○	○						2				
	ウェブサイエンス	2	○	○	○						2				
	統計科学C	2	○	○	○							2			
	計算機科学概論	1	◎	○	○				1					第1クォーター	
	情報構造論	2	◎	○	○				2					選	
	計算機アーキテクチャ	2	◎	○	○				2					選	
	オペレーティング・システム	2	◎	○	○				2					選	
	計算機科学演習	1	◎	○	×				2						
	ディジタル回路	2	◎	○	○					2					
	ソフトウェア工学1	2	◎	○	○					2				選	
	ソフトウェア開発演習1	1	◎	○	○					2				必	
	情報ネットワーク	2	◎	○	○					2				必	
	ソフトウェア工学2	2	◎	○	○						2			必	
	ソフトウェア開発演習2	1	◎	○	○						2			選	
	言語処理	2	◎	○	○						2				
	計算機システム実験	2	◎	○	○						2			必	
	情報セキュリティ	1	◎	○	○						1			第1クォーター	
	知識処理論	2	◎	○	○						2				
	知能システム実験	2	◎	○	○							2			
	情報英語	2	◎	○	○						2				
	卒業研究	8	◎	○	○								6	18	
	英語コミュニケーション	1	○	○	×						2				
	情報職業指導	2	○	×	×						2			必	
	情報職業指導演習	1	○	○	×					2					
	情報セキュリティ演習	1	○	○	○							2		第3クォーター	
	知的処理演習	1	○	○	○							2			
	情報工学特別講義	2	○	×	×						2				
	情報工学特別実習2A	1	○	×	×				1	1					
情報工学特別実習3A	1	○	×	×						1	1				
情報工学特別実習4A	1	○	×	×								1	1		
情報工学特別実習2B	2	○	×	×				2	2						
情報工学特別実習3B	2	○	×	×					2	2					
情報工学特別実習4B	2	○		×	×							2	2		
必修科目						81単位									
A選択科目						54単位									
B選択科目						2単位									

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・ A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・ B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上制限」欄の○は履修上制限対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

知能情報システムプログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		12	6	必修 71 単位, A 選択6 単位を含む77 単位以上
	共通専門科目		57 (注2)		
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					101 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目）の必修科目 57 単位の中には「情報科学 A」、「情報科学 B」、「情報科学 B 展望」、「プログラミング演習」、「計算機科学演習」、「基礎理工学 PBL」、「ソフトウェア開発演習 1」、「ソフトウェア開発演習 2」、「計算機システム実験」、「知能システム実験」を含むこと。

知能情報システムプログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む26 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		12	8	必修 61 単位， A 選択 8 単位を含む69 単位以上
	共通専門科目		47 (注2)		
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					95 単位以上
累積成績指標値					3.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目）の必修科目 47 単位の中には「情報科学 A」、「情報科学 B」、「情報科学 B 展望」、「プログラミング演習」、「計算機科学演習」、「基礎理工学 PBL」、「ソフトウェア開発演習 1」、実験 2 単位以上を含むこと。

③DX人材育成基盤プログラム

○カリキュラム表

科目 区分	授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目
						1 年		2 年		3 年		4 年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基盤 教育 科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2									
	基礎代数学1	2	◎	○	○	2									
	基礎解析学2	2	◎	○	○		2								
	基礎代数学2	2	◎	○	○		2								
	基礎解析学3	2	◎	○	○			2							
	基礎代数学3	2	◎	○	○			2							
	力学	2	○	○	○	2									
	原子と分子	2	○	○	○	2									
	物質の状態と変化	2	○	○	○		2								
	微分方程式	2	○	○	○			2							
	複素関数	2	○	○	○			2							
	ベクトル解析	2	○	○	○				2						
	フーリエ解析	2	○	○	○				2						
	確率・統計解析	2	○	○	○				2						
共通 専門 科目	音メディア処理	2	◎	○	○			2							
	基礎理工学PBL	2	◎	○	○				2						
	応用理工学PBL	2	◎	○	○					2					
	技術者倫理	2	◎	○	×					2					
	人工知能基礎	2	◎	○	○				2						
	図学	2	○	○	×	2									
	波動と光	2	○	○	○		2								
	機械工学概論	2	○	○	○			2							
	科学英語表現法	2	○	○	○						2				
	インターンシップA	1	○	×	×					1					
	インターンシップB	2	○	×	×					2					
	起業家養成講座	2		×	×	2									
	プログラム 群共通 専門科目	情報科学A	2	◎	○	○	2								必
		情報科学B	2	◎	○	○		2							必
情報科学B展望		2	◎	○	○		2							選	
プログラミング演習		2	◎	○	○			4						選	
応用数学A		2	◎	○	○				2						
幾何学A		2	◎	○	○				2						
マルチメディア処理		2	◎	○	○				2					必	
ヒューマン・インタフェース		2	◎	○	○				2						
統計科学A		2	◎	○	○					2					
データベースシステム		2	◎	○	○					2				必	
応用数学B		2	◎	○	○						2				
マルチメディア処理演習		1	○	○	○				2					必	
コンピュータグラフィックス		2	○	○	○					2				選	
データベース演習		1	○	○	○					2				選	
プログラム 専門 科目	統計科学B	2	○	○	○						2				
	ウェブサイエンス	2	○	○	○						2			選	
	統計科学C	2	○	○	○							2			
	計算機科学概論	1	◎	○	○			1						第1クォーター	
	情報構造論	2	◎	○	○			2						選	
	計算機アーキテクチャ	2	◎	○	○			2						選	
	オペレーティング・システム	2	◎	○	○			2						選	
	計算機科学演習	1	◎	○	×			2							
	デジタル回路	2	◎	○	○				2						
	ソフトウェア工学1	2	◎	○	○				2					選	
	ソフトウェア開発演習1	1	◎	○	○				2					必	
	情報ネットワーク	2	◎	○	○				2					必	
	ソフトウェア工学2	2	◎	○	○					2				必	
	ソフトウェア開発演習2	1	◎	○	○					2				選	
	言語処理	2	◎	○	○					2					
	計算機システム実験	2	◎	○	○					2				必	
	情報セキュリティ	1	◎	○	○					1				第1クォーター	
	知識処理論	2	◎	○	○					2					
	知能システム実験	2	◎	○	○						2				
	情報英語	2	◎	○	○						2				
	卒業研究	8	◎	○	○							6	18		
	英語コミュニケーション	1	◎	○	×	×				2					
	情報職業指導	2	○	×	×	×				2				必	
	情報職業指導演習	1	○	○	○	×					2				
	情報セキュリティ演習	1	○	○	○	○					2			第3クォーター	
	知的処理演習	1	○	○	○	○					2				
	情報工学特別講義	2	○	×	×	×				2					
	情報工学特別実習2A	1	○	×	×	×		1	1						
	情報工学特別実習3A	1	○	×	×	×				1	1				
	情報工学特別実習4A	1	○	×	×	×						1	1		
	情報工学特別実習2B	2	○	×	×	×		2	2						
	情報工学特別実習3B	2	○	×	×	×				2	2				
	情報工学特別実習4B	2	○	×	×	×						2	2		
	D X 実践 P B L	4	○		×	×				4	4				
	必修科目						82単位								
	A選択科目						57単位								
B選択科目						2単位									

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並ひに卒業に必要な単位として含める。
・B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並ひに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上制限」欄の○は履修上制限対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

D X人材育成基盤プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分				必要最低単位数		必要単位数
				必修	A選択	
教養教育科目	大分大学入門			1	/	必修 12 単位を含む 24 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）			2		
	データサイエンス入門			1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C			2		
	外国語科目	英語 I		4		
		英語 II		2		
専門教育科目	基盤教育科目			12	6	必修 71 単位, A選択6 単位を含む 77 単位以上
	共通専門科目			57 (注2)		
	プログラム群共通専門科目					
	プログラム専門科目					
	副専門科目（注1）			2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数						101 単位以上
累積成績指標値						1.8 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目）の必修科目 57 単位の中には「情報科学A」、「情報科学B」、「情報科学 B 展望」、「プログラミング演習」、「計算機科学演習」、「基礎理工学 PBL」、「ソフトウェア開発演習 1」、「ソフトウェア開発演習 2」、「計算機システム実験」、「知能システム実験」を含むこと。

D X人材育成基盤プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む 26 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含む こと
	理工学導入（「大分を創る」(テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	英語 I	4		
		英語 II	2		
専門教育科目	基盤教育科目		12	8	必修 61 単位, A選択 8 単位を含む 69 単位以上
	共通専門科目		47 (注2)		
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注1)		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					95 単位以上
累積成績指標値					3.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目）の必修科目 47 単位の中には「情報科学A」、「情報科学B」、「情報科学 B 展望」、「プログラミング演習」、「計算機科学演習」、「基礎理工学 PBL」、「ソフトウェア開発演習 1」、実験 2 単位以上を含むこと。

④物理学連携プログラム

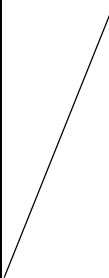
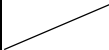
○カリキュラム表

科目 区分		授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目 (中)	教職 課程 科目 (高)		
							1 年		2 年		3 年		4 年						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専門 教育 科目	基盤 教育 科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2												
		基礎代数学1	2	◎	○	○	2												
		基礎解析学2	2	◎	○	○		2											
		基礎代数学2	2	◎	○	○		2											
		基礎解析学3	2	◎	○	○			2										
		基礎代数学3	2	◎	○	○			2										
		力学	2	◎	○	○	2									選	選		
		データサイエンス	2	◎	○	○		2											
		原子と分子	2	○	○	○	2										選必		
		物質の状態と変化	2	○	○	○		2											
		微分方程式	2	◎	○	○			2										
		複素関数	2	◎	○	○			2										
		ベクトル解析	2	◎	○	○				2									
	フーリエ解析	2	◎	○	○				2										
	確率・統計解析	2	○	○	○				2										
	共通 専門 科目	波動と光	2	◎	○	○		2									選	選	
		物理学実験	2	◎	○	○		2									必	選	
		解析力学	1	◎	○	○		1									選	選	
		熱力学基礎・演習	3	◎	○	○			3										
		基礎理工学PBL	2	◎	○	○				2									
		応用理工学PBL	2	◎	○	○						2							
		計算物理学1	2	◎	○	○				2							選	選	
		宇宙物理概論	2	◎	○	○				2							選	選	
		技術者倫理	2	◎	○	○					2								
		化学への扉	2	○	○	○		2										選	
		流体力学基礎	2	○	○	○			2										
		基礎化学実験	2	○	○	○			2								選必	選必	
		流体力学	2	○	○	○				2									
		人工知能基礎	2	○	○	○				2									
		大気海洋科学	2	○	○	○					2						選	選	
		機器分析	2	○	○	○					2								
		材料と弾性の力学	2	○	○	○					2								
		線形システム論	2	○	○	○					2								
		非線形システム論	2	○	○	○						2							
		科学英語表現法	2	○	○	○						2							
		起業家養成講座	2		×	×	2												
		インターンシップA	1	○	×	×					1								
		インターンシップB	2	○	×	×					2								
		基礎物理学	2		×	×	2										必	必	
		基礎地学	2		×	×	2										必	必	
		基礎生物学	2		×	×		2									必	選必	
		基礎化学	2		×	×		2									必	選必	
		生物学実験	2		×	×			2								必	選	
		地学実験	2		×	×					2						必	選	
		プログラム 群 共通 専門 科目	電気磁気学1	2	◎	○	○		2										
			電気電子基礎実験1	2	◎	○	○			3									
電気磁気学2			2	◎	○	○			2						第1クォーター				
電気磁気学3			2	◎	○	○			2						第2クォーター				
電気電子基礎実験2	2		◎	○	○				3										
量子力学	2		◎	○	○					2						選	選		
電気電子材料	2		◎	○	○						2								
電子物性工学	2		○	○	○				2										
過渡現象論	2		○	○	○				2										
数値解析	2		○	○	○				2										
電磁波・光工学	2		○	○	○					2									
半導体工学	2		○	○	○					2									
デジタル電子回路	2		○	○	○						2								
自動制御	2		○	○	○						2								
プログラム 専門 科目	プログラミングC		2	◎	○	○	2												
	剛体の力学	1	◎	○	○		1									選	選		
	物理学PBL1	4	◎	○	○					4									
	物理学PBL2	4	◎	○	○						4								
	物理学特別講義1	1	◎	○	×			0.5	0.5										
	物理学特別講義2	1	◎	○	×					0.5	0.5								
	統計力学	2	◎	○	○						2					選	選		
	計算物理学2	1	◎	○	○					1						選	選		
	情報物理学	1	◎	○	○					1									
	卒業研究	8	◎	○	○							6	18						
	必修科目		81単位																
A選択科目		45単位																	
B選択科目		14単位																	

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・ A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・ B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

物理学連携プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		78 (注2)		80 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					104 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（基盤教育科目、共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目） 78 単位の中には「物理学実験」、「電気電子基礎実験 1」、「電気電子基礎実験 2」を含むこと。

物理学連携プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を 含む24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以 上を含むこと
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 B 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		66 (注2)		68 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					92 単位以上
累積成績指標値					3.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（基盤教育科目、共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目） 66 単位の中には「物理学実験」、「電気電子基礎実験 1」、「電気電子基礎実験 2」を含むこと。

⑤電気エネルギー・電子工学プログラム○
カリキュラム表

科目 区分	授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目				
						1年		2年		3年		4年							
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専 門 教 育 科 目	基 盤 教 育 科 目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2												
		基礎代数学1	2	◎	○	○	○	2											
		基礎解析学2	2	◎	○	○	○		2										
		基礎代数学2	2	◎	○	○	○		2										
		基礎解析学3	2	◎	○	○	○			2									
		基礎代数学3	2	○	○	○	○			2									
		力学	2	◎	○	○	○	2											
		データサイエンス	2	◎	○	○	○		2										
		微分方程式	2	○	○	○	○			2									
		複素関数	2	◎	○	○	○			2									
		フーリエ解析	2	○	○	○	○				2								
		確率・統計解析	2	○	○	○	○				2								
	共 通 専 門 科 目	物理学実験	2	◎	○	○	○		2										
		基礎理工学PBL	2	◎	○	○	○				2								
		応用理工学PBL	2	◎	○	○	○					2							
		技術者倫理	2	◎	○	○	○					2							
		波動と光	2	○	○	○	○		2										
		環境地球科学	2	○	○	○	○			2									
		計算物理学1	2	○	○	○	○				2								
		宇宙物理概論	2	○	○	○	○				2								
		機械工学概論	2	○	○	○	○					2							
		音メディア処理	2	○	○	○	○					2							
		図学	2	○	○	○	×			2									
		職業指導	2		×	×	×					2				必			
		科学英語表現法	2	○	○	○	○						2						
		起業家養成講座	2		×	×	×	2											
	インターンシップA	1	○	×	×	×					1								
	インターンシップB	2	○	×	×	×					2								
	工業概論	2		×	×	×						2				必			
	プ ロ グ ラ ム 群 共 通 専 門 科 目	電気磁気学1	2	◎	○	○	○		2								選		
		電気磁気学2	2	◎	○	○	○			2							第1クォーター	選	
		電気磁気学3	2	◎	○	○	○			2							第2クォーター	選	
		電気電子基礎実験1	2	◎	○	○	○				3							選	
		電気電子基礎実験2	2	◎	○	○	○					3						選	
		過渡現象論	2	◎	○	○	○					2						選	
		電子物性工学	2	◎	○	○	○					2						選	
		電磁波・光工学	2	◎	○	○	○						2					選	
		自動制御	2	◎	○	○	○							2				選	
		数値解析	2	○	○	○	○					2						選	
		半導体工学	2	○	○	○	○						2					選	
		量子力学	2	○	○	○	○						2						
		電気電子材料	2	○	○	○	○							2					
		デジタル電子回路	2	○	○	○	○							2					
		プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	電気電子数学	2	◎	○	○	○	2										選
			プログラミングD	2	◎	○	○	○	2										選
			電気回路1	2	◎	○	○	○	2										選
電気回路2			2	◎	○	○	○		2									選	
電気回路3			2	◎	○	○	○			2								選	
電気電子計測工学			2	◎	○	○	○				2							選	
電気磁気学4			2	◎	○	○	○					2						選	
電子回路1			2	◎	○	○	○					2						選	
計算機工学			2	◎	○	○	○					2							
電気機器工学			2	◎	○	○	○						2					選	
通信工学	2		◎	○	○	○						2							
電気電子工学実験1	2		◎	○	○	○						3					選		
電気電子工学実験2	2		◎	○	○	○							3				選		
電子回路2	2		◎	○	○	○						2					選		
線形システム	2		◎	○	○	○						2					選		
卒業研究	8		◎	○	○	○								6	18				
電気エネルギー変換工学	2		○	○	○	○						2					選		
電力エネルギー工学	2		○	○	○	○						2					選		
電気電子英語	2		○	○	○	○							2						
集積回路工学	2		○	○	○	×							2				選		
電気法規および施設管理	2		○	×	×	×							2						
通信方式	2		○	○	○	○							2						
電波・アンテナ工学	2		○	○	○	○							2				選		
高電圧プラズマ工学	2		○	○	○	○							2				選		
電子機器	2	○	○	○	○								2						
電気機器設計・製図	2	○	○	○	○									4		選			
通信法規	2	○	×	×	×									2					
論文輪講	1	○	○	○	○									2					
必修科目						80単位													
A選択科目						60単位													
B選択科目						6単位													

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・ A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・ B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

電気エネルギー・電子工学プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分		必要最低単位数		必要単位数
		必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門	1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)	2		
	データサイエンス入門	1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C	2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」		
		「英語Ⅱ」		
専門教育科目	基盤教育科目	16	14	必修 68 単位, A 選択 14 単位を含む 82 単位以上
	共通専門科目	8		
	プログラム群共通専門科目	42		
	プログラム専門科目	(注2)		
	副専門科目 (注1)	2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数				106 単位以上
累積成績指標値				1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目 (プログラム群共通専門科目, プログラム専門科目) の必修科目 42 単位の中には「電気磁気学 1・2・3・4」, 「電気電子基礎実験 1・2」, 「電気電子数学」, 「プログラミング D」, 「電気回路 1・2」, 「電気電子工学実験 1・2」を含むこと。

電気エネルギー・電子工学プログラム早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分		必要最低単位数		必要単位数
		必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門	1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)	2		
	データサイエンス入門	1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C	2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」		
		「英語Ⅱ」		
専門教育科目	基盤教育科目	16	12	必修 60 単位, A 選択 12 単位を含む72 単位以上
	共通専門科目	42		
	プログラム群共通専門科目	(注2)		
	プログラム専門科目			
	副専門科目 (注1)	2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数				96 単位以上
累積成績指標値				3.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目 (共通専門科目, プログラム群共通専門科目, プログラム専門科目) の必修科目 42 単位の中には「物理学実験」, 「基礎理工学 PBL」, 「電気磁気学 1・2・3・4」, 「電気電子基礎実験 1・2」, 「電気電子数学」, 「プログラミング D」, 「電気回路 1・2」を含むこと。

⑥機械工学プログラム○
カリキュラム表

科目 区分		授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備 考	教職 課程 科目
							1 年		2 年		3 年		4 年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	基 盤 教 育 科 目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2									
		基礎代数学1	2	◎	○	○	2									
		基礎解析学2	2	◎	○	○		2								
		基礎代数学2	2	◎	○	○		2								
		基礎解析学3	2	◎	○	○			2							
		基礎代数学3	2	◎	○	○			2							
		力学	2	◎	○	○	2									
		データサイエンス	2	◎	○	○		2								
		原子と分子	2	○	○	○	2									
		物質の状態と変化	2	○	○	○		2								
		微分方程式	2	○	○	○			2							
		複素関数	2	○	○	○			2							
		ベクトル解析	2	○	○	○				2						
		フーリエ解析	2	○	○	○				2						
		確率・統計解析	2	○	○	○				2						
	共 通 専 門 科 目	熱力学基礎・演習	3	◎	○	○			3						選	
		流体力学基礎	2	◎	○	○			2						選	
		基礎理工学PBL	2	◎	○	○				2						
		応用理工学PBL	2	◎	○	○					2					
		流体力学	2	◎	○	○				2					選	
		技術者倫理	2	◎	○	○					2					
		材料と弾性の力学	2	◎	○	○					2				選	
		波動と光	2	○	○	○		2								
		物理学実験	2	○	○	○		2								
		職業指導	2		×	×					2				必	
		計算物理学1	2	○	○	○				2						
		科学英語表現法	2	○	○	○						2				
		起業家養成講座	2		×	×	2									
		インターンシップA	1	○	×	×						1				
		インターンシップB	2	○	×	×						2				
	工業概論	2		×	×						2			必		
	プ ロ グ ラ ム 群 共 通 専 門 科 目	物理数学1	2	◎	○	○	2									
		物理数学2	2	◎	○	○		2								
		工学セミナー	1	◎	○	○	2									
		材料力学基礎	2	◎	○	○			2						選	
		機械力学基礎	2	◎	○	○					2				選	
		CAD演習	1	◎	○	×						2			選	
		生体情報工学	2	○	○	○		2							選	
		電気回路基礎	2	◎	○	○				2					選	
		現代制御	2	○	○	○							2		選	
		プログラミングE	2	◎	○	○	2									
		機械製図	1	◎	○	×	3								選	
		機械設計製図	1	◎	○	×		3							選	
		応用データサイエンス	2	◎	○	○			2						選	
		機械工作法	2	○	○	○				2					選	
		材料力学	2	◎	○	○					2				選	
		熱力学1	2	◎	○	○					2				選	
プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目		機械設計学基礎	2	◎	○	○					2				選	
	機械工学実習	2	◎	○	×					2				選		
	機械計測工学	2	◎	○	○					2				選		
	伝熱学1	2	◎	○	○						2			選		
	流体工学	2	◎	○	○						2			選		
	システム制御	2	◎	○	○						2			選		
	機械工学実験1	2	◎	○	×						3			選		
	機械応用設計解析	2	◎	○	×						3			選		
	機械材料学	2	○	○	○							2		選		
	機械力学	2	◎	○	○							2		選		
	熱力学2	2	◎	○	○							2		選		
	伝熱学2	2	○	○	○							2		選		
	流体機械	2	◎	○	○							2		選		
	機械工学実験2	2	◎	○	×							3		選		
	テクニカルイングリッシュ	1	◎	○	○								2			
	卒業研究	8	◎	○	○								3	15		
	電気工学概論	2	○	○	○				2							
	計算力学	2	○	○	○							2		選		
	機械加工学	2	○	○	○							2		選		
	メカトロニクス	2	○	○	○							2		選		
必修科目		86単位														
A選択科目		43単位														
B選択科目		6単位														

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・ A 選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・ B 選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

機械工学プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む 26 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		75	6	必修 77 単位, A 選択 6 単位を含む 83 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注)		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					109 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

機械工学プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む 24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		68	6	必修 70 単位, A 選択 6 単位を含む 76 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注)		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					100 単位以上
累積成績指標値					3.0 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

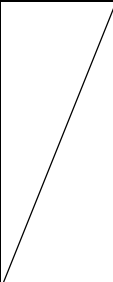
⑦知能機械システムプログラム〇
カリキュラム表

科目 区分		授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目
							1 年		2 年		3 年		4 年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	基盤教育科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2									
		基礎代数学1	2	◎	○	○	2									
		基礎解析学2	2	◎	○	○		2								
		基礎代数学2	2	◎	○	○		2								
		基礎解析学3	2	◎	○	○			2							
		基礎代数学3	2	◎	○	○			2							
		力学	2	◎	○	○	2									
		データサイエンス	2	◎	○	○		2								
		言語思想論	2	○	○	○			2							
		微分方程式	2	○	○	○			2							
		複素関数	2	○	○	○			2							
		ベクトル解析	2	○	○	○				2						
		フーリエ解析	2	○	○	○				2						
		確率・統計解析	2	○	○	○				2						
	共通専門科目	線形システム論	2	◎	○	○			2							選
		基礎理工学PBL	2	◎	○	×				2						
		応用理工学PBL	2	◎	○	×						2				
		技術者倫理	2	◎	○	○					2					
		熱力学基礎・演習	3	○	○	○			3							選
		流体力学基礎	2	○	○	○			2							選
		非線形システム論	2	○	○	○						2				選
		職業指導	2		×	×					2					必
		科学英語表現法	2	○	○	○						2				
		起業家養成講座	2		×	×	2									
		インターンシップA	1	○	×	×						1				
		インターンシップB	2	○	×	×						2				
		工業概論	2		×	×						2				必
	プログラム群共通専門科目	物理数学1	2	◎	○	×	2									
		物理数学2	2	◎	○	×		2								
		工学セミナー	1	◎	○	×	2									
		生体情報工学	2	◎	○	○		2								選
		電気回路基礎	2	◎	○	○		2								選
		材料力学基礎	2	◎	○	○			2							選
		現代制御	2	◎	○	○					2					選
		機械力学基礎	2	○	○	○					2					選
		CAD演習	1	○	○	○						2				選
		プログラミングF	2	◎	○	○	2									選
	プログラム専門科目	機械製図基礎	1	◎	○	×			3							選
		電気回路	2	◎	○	○			2							選
		電磁気学1	2	◎	○	○			2							選
		制御工学基礎	2	◎	○	○			2							選
		材料力学応用	2	◎	○	○					2					選
		機械工学実験	2	◎	○	×					3					選
		電子回路	2	◎	○	○					2					選
		電磁気学2	2	◎	○	○					2					選
		制御工学	2	◎	○	○					2					選
		バイオメカニズム	2	◎	○	○					2					選
		数値解析基礎	2	◎	○	○					2					選
		機器設計工学	2	◎	○	○					2					選
		機構力学	2	◎	○	○					2					選
		電気電子工学実験	2	◎	○	×					3					選
		電気機器1	2	◎	○	○					2					選
		計測工学	2	◎	○	○					2					選
		ロボット工学	2	◎	○	○						2				選
		運動計測法	2	◎	○	○						2				選
		計測制御工学実験	2	◎	○	×						3				選
		卒業研究	8	◎	○	×							4	20		
		信号処理	2	○	○	○						2				選
		スポーツ工学	2	○	○	○						2				選
		身体運動機能学	2	○	○	○						2				選
		電気機器2	2	○	○	○						2				選
		電力システム工学	2	○	○	○						2				選
		数値解析応用	2	○	○	○						2				
	医療データ解析・活用論	1	○	○	○							1				
必修科目						84単位										
A選択科目						40単位										
B選択科目						6単位										

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

知能機械システムプログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		76 ※2 (注2)	6	必修 78 単位, A 選択6 単位以上を含む 84 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注1)		2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					108 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目 (基盤教育科目、共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目) の必修科目 76 単位の中には「電気電子工学実験」、「計測制御工学実験」、「機械製図基礎」、「機械工学実験」を含むこと。

知能機械システムプログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 C		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		62 (注2)	6	必修 64 単位 A 選択 6 単位以上 を含む 70 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					94 単位以上
累積成績指標値					3.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

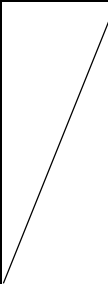
注2 専門教育科目 (基盤教育科目、共通専門科目、プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目) の必修科目 62 単位の中には「電気電子工学実験」、「計測制御工学実験」、「機械製図基礎」、「機械工学実験」を含むこと。

カリキュラム表

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「修習課程科目」欄の「△」は教員会臨時協定にあつての必修科目、「□」は選択科目を表す。

生命・物質化学プログラム 卒業研究着要件

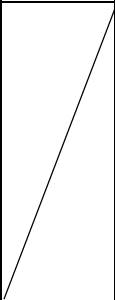
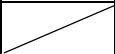
3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む26 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		46	36	必修 48 単位， A 選択 36 単位を含む 84 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注）		2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					110 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

生命・物質化学プログラム 早期卒業希望者卒業研究着要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1		必修 12 単位を含む 26 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		30	34	必修 34 単位, A 選択 34 単位を含む 68 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注)		4		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					94 単位以上
累積成績指標値					3.4 以上
専門教育科目累積成績指標値					3.4 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

⑨地域環境科学プログラム○
カリキュラム表

科目 区分	授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目 (中)	教職 課程 科目 (高)	
						1 年		2 年		3 年		4 年					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基盤 教育 科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2											
	基礎代数学1	2	◎	○	○	2											
	基礎解析学2	2	◎	○	○		2										
	基礎代数学2	2	◎	○	○		2										
	基礎解析学3	2	○	○	○			2									
	基礎代数学3	2	○	○	○			2									
	データサイエンス	2	◎	○	○		2										
	力学	2	○	○	○	2									選	選	
	原子と分子	2	○	○	○	2										選必	
	物質の状態と変化	2	○	○	○		2										
	微分方程式	2	○	○	○			2									
	複素関数	2	○	○	○			2									
	ベクトル解析	2	○	○	○				2								
	フーリエ解析	2	○	○	○				2								
	確率・統計解析	2	○	○	○				2								
共通 専門 科目	基礎物理学	2	◎	○	○	2										必	必
	基礎地学	2	◎	○	○	2										必	必
	環境地球科学	2	◎	○	○			2								選	選
	基礎理工学PBL	2	◎	○	○				2								
	応用理工学PBL	2	◎	○	○						2						
	環境生物学	2	◎	○	○				2							選	選
	大気海洋科学	2	◎	○	○						2					選	選
	図学	2	○	○	○	2											
	起業家養成講座	2		×	×	2											
	物理学実験	2	○	○	○			2								必	選
	宇宙物理概論	2	○	○	○				2							選	選
	分子生物学	2	○	○	○				2							選	選
	生物多様性学	2	○	○	○						2					選	選
	科学英語表現法	2	○	○	○							2					
	遺伝子科学	2	○	○	○							2					
インターンシップA	1	○	×	×	×					1							
インターンシップB	2	○	×	×	×					2							
専門 教育 科目	基礎化学	2	◎	○	○		2									必	選必
	基礎生物学	2	◎	○	○		2									必	選必
	生物学実験	2	○	○	○			2								必	選
	地学実験	2	○	○	○				2							必	選
	プログラミングII	2	◎	○	○	2											
	地域環境科学キャリア開発 リスクと環境	1	◎	○	×	1		1							第1クォーター 第3クォーター		
	建築製図I	2	○	○	○		4										
	地域安全システム工学	2	◎	○	○					2							
	建築構法	2	○	○	×	2											
	住居論	2	○	○	○				2								
	建築環境工学1	2	○	○	○				2								
	建築構造力学2	2	○	○	○					2							
	建築材料	2	○	○	○					2							
	建築材料力学	2	○	○	○					2							
	建築構造力学1	2	○	○	○					2					第1クォーター		
	建築計画1	2	○	○	○						2						
	建築環境工学2	2	○	○	○						2						
	建築構造解析	2	○	○	○						2						
	建築構造設計1	2	○	○	○						2						
	不気構造	2	○	○	○						2						
	建築計画2	2	○	○	○							2					
	建築設備計画1	2	○	○	○							2					
	鉄筋コンクリート構造	2	○	○	○							2					
	建築耐震システム	2	○	○	○							2					
	建築環境シミュレーション	2	○	○	○							2					
	鉄骨構造	2	○	○	○							2					
	建築基礎構造	2	○	○	○								2				
	地域デザイン	2	○	○	○								2				
	建設技術者倫理	2	◎	○	×	×						2					
	プログラム 専門 科目	地域資源フィールドワーク	2	◎	○	○	2										選
土木工学概論		2	◎	○	○		2										
保全生物学		2	○	○	○			2								選	選
環境化学概論		2	◎	○	○			2								選	選
地域環境科学特別講義1		1	◎	○	×	×			1								
構造工学		2	◎	○	×	×				2							
地盤工学		2	◎	○	○					2							
都市・地域計画		2	◎	○	○					2							
地球化学		2	◎	○	○						2					選	選
木工学		2	◎	○	○						2						
測量学		2	◎	○	○						2						
測量実習		1	◎	○	○						1						
土木実験演習1		2	◎	○	○						2						
土木実験演習2		2	◎	○	○							2					
地域環境科学ワークショップ		2	◎	○	○							2	2				
地域環境科学特別講義2		1	◎	○	×	×					1						
クライシスマネジメント論		2	◎	○	○							2					
減災デザイン・コミュニケーション		2	◎	○	○							2					
地方自治と減災政策		2	◎	○	○								2				
卒業研究		8	◎	○	○	○								6	18		
外書講読		2	◎	○	○	○							2	2			
有機化学		2	○	○	○	○			2							選	選
化学実験		2	○	○	○	○				2						選必	選必
応用生物学		2	○	○	○	○						2				選	選
地理情報システム (GIS)	2	○	○	○	○						2						
応用生物学実験	2	○	○	○	○							2			選	選	
必修科目						79単位											
A選択科目						95単位											
B選択科目						2単位											

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

地域環境科学プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分				必要最低単位数		必要単位数
				必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門			1		必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」 (テーマ) 科目)			2		
	データサイエンス入門			1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B			2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」		4		
		「英語Ⅱ」		2		
専門教育科目	基盤教育科目			62	10	必修 64 単位, A 選択 10 単位を含む 74 単位以上
	共通専門科目					
	プログラム群共通専門科目					
	プログラム専門科目					
	副専門科目 (注)			2		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数						98 単位以上
累積成績指標値						1.0 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

地域環境科学プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む 26 単位以上 「大分を創る」(テーマ) 科目 2 単位以上を含むこと
	理工学導入 (「大分を創る」 (テーマ) 科目)		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		54	15	必修 56 単位, A 選択 15 単位を含む 71 単位以上
	共通専門科目				
	プログラム群共通専門科目				
	プログラム専門科目				
	副専門科目 (注)		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					97 単位以上
累積成績指標値					3.6 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

⑩建築学プログラム○
カリキュラム表

科目 区分		授業科目名	単位数	必修 選択 の別	成績 指標 制度	履 修 上 限 制	週授業時間数								備考	教職 課程 科目		
							1 年		2 年		3 年		4 年					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎 教育 科目	基礎 教育 科目	基礎解析学1	2	◎	○	○	2											
		基礎代数学1	2	◎	○	○	2											
		基礎解析学2	2	◎	○	○	2											
		基礎代数学2	2	◎	○	○	2											
		基礎解析学3	2	◎	○	○		2										
		基礎代数学3	2	◎	○	○		2										
		力学	2	◎	○	○	2											
		データサイエンス	2	◎	○	○	2											
		原子と分子	2	○	○	○	2											
		物質の状態と変化	2	○	○	○	2											
		言語思想論	2	○	○	○		2										
		微分方程式	2	○	○	○		2										
		複素関数	2	○	○	○		2										
		ベクトル解析	2	○	○	○			2									
		フーリエ解析	2	○	○	○			2									
確率・統計解析	2	○	○	○			2											
共通 専門 科目	共通 専門 科目	基礎理工学PBL	2	◎	○	○			2									
		応用理工学PBL	2	◎	○	○					2							
		基礎化学	2	○	○	○		2										
		基礎生物学	2	○	○	○		2										
		波動と光	2	○	○	○		2										
		化学への扉	2	○	○	○		2										
		物理学実験	2	○	○	○			2									
		職業指導	2		×	×					2					必		
		起業家養成講座	2		×	×	2											
		インターンシップA	1	○	×	×					1							
		インターンシップB	2	○	×	×					2							
		工業概論	2		○	×					2					必		
		プログラミングHI	2	◎	○	○	2									選		
		建設技術者倫理	2	◎	○	×					2							
		建築構法	2	◎	○	×	2									選		
専門 教育 科目	プログラム 群共通 専門 科目	建築環境工学1	2	◎	○	○			2							選		
		建築環境工学2	2	◎	○	○				2						選		
		建築環境シミュレーション	2	△	○	○					2					選		
		建築設備計画1	2	◎	○	○					2					選		
		建築製図1	2	◎	○	○		4										
		住居論	2	◎	○	○			2							選		
		建築計画1	2	◎	○	○				2						選		
		建築計画2	2	◎	○	○					2					選		
		地域安全システム工学	2	○	○	○				2								
		地域デザイン	2	△	○	○						2				選		
		建築構造力学1	2	◎	○	○		2								選		
		建築構造力学2	2	◎	○	○			2							選		
		建築構造解析	2	◎	○	○				2						選		
		建築構造設計1	2	◎	○	○				2						選		
		建築耐震システム	2	△	○	○					2					選		
		木質構造	2	◎	○	○				2						選		
		鉄筋コンクリート構造	2	◎	○	○					2					選		
		鉄骨構造	2	◎	○	○					2					選		
		建築材料	2	◎	○	○				2						選		
		建築材料力学	2	◎	○	○				2						選		
		建築基礎構造	2	△	○	○						2				選		
		地域環境科学キャリア開発	1	○	○	×	1								第1クォーター 第3クォーター			
		リスクと環境	1	○	○	×		1										
		プログラム 専門 科目	プログラム 専門 科目	建築図学	2	◎	○	○	2									
				建築環境工学演習1	1	△	○	×			2							選
				建築環境工学演習2	1	△	○	×				2						選
				建築設備計画2	2	△	○	×						2				
				音環境計画	2	△	○	○						2				選
				建築製図2	2	◎	○	○			4							選
				建築計画設計演習1	1.5	◎	○	○				3					第3クォーター	選
建築計画設計演習2	1.5			◎	○	○					3				第4クォーター	選		
建築計画設計演習3	1.5			◎	○	○						3			第1クォーター	選		
建築計画設計演習4	1.5			◎	○	○							3		第2クォーター	選		
建築設計演習	3			△	○	○							6					
都市計画	2			◎	○	○						2				選		
建築構造力学1演習	1			△	○	×		2								選		
建築構造設計2	2			△	○	○						2						
建築塑性設計法	1			△	○	○							1		第3クォーター	選		
建築施工学	2			◎	○	○						2						
リハビリテーション工学	2			△	○	○							2					
建築材料実験	1			△	○	○							2			選		
日本建築史	2			△	○	×		(2)		(2)					隔年開講			
西洋建築史	2			△	○	×		(2)		(2)					隔年開講			
測量学実習	1.5	△	○	○			3											
建築法規	2	◎	○	○						2								
建築ワークショップ	2	◎	○	×							2			選				
卒業研究	8	◎	○	○								8	16					
必修科目						84単位												
A選択科目						33単位												
B選択科目						6単位												
S選択科目						29.5単位												

注1「必修選択の別」欄の◎は必修科目、△はS選択科目、○はA選択科目、空欄はB選択科目を表す。
・S、A選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。
・B選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。
注2「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目、×は非対象科目を表す。
注3「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目、×は非対象科目を表す。
注4「教職課程科目」欄の「必」は教員免許状取得にあたっての必修科目、「選」は選択科目を表す。

建築学プログラム 卒業研究着手要件

3年次終了時に下表の要件を全て満たしていること。

科目区分			必要最低単位数		必要単位数
			必修	A 選択	
教養教育科目	大分大学入門		1	/	必修 12 単位を含む24 単位以上 「大分を創る」 （テーマ） 科目 2 単位以上を含むこと。
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）		2		
	データサイエンス入門		1		
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B		2		
	外国語科目	「英語Ⅰ」	4		
		「英語Ⅱ」	2		
専門教育科目	基盤教育科目		16	4	必修 74 単位, A 選択4 単位を含む86 単位以上
	共通専門科目		4		
	プログラム群共通専門科目		52 (注2)	/	
	プログラム専門科目				
	副専門科目（注1）		2	/	
卒業研究着手に必要な最低修得単位数					110 単位以上
累積成績指標値					1.0 以上

注1 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。

注2 専門教育科目（プログラム群共通専門科目、プログラム専門科目）の必修科目 52 単位の中には全ての演習・製図科目を含む。

建築学プログラム 早期卒業希望者卒業研究着手要件

2年次終了時に下表の要件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手することができる。

科目区分				必要最低単位数			必要単位数
				必修	A 選択	S 選択	
教養教育科目	大分大学入門			1	/		必修 12 単位を含む 24 単位以上 「大分を創る」 (テーマ) 科目 2 単位以上を含むこ と
	理工学導入（「大分を創る」（テーマ）科目）			2			
	データサイエンス入門			1			
	理工学入門 A 又は 理工学入門 B			2			
	外国語科目	「英語Ⅰ」		4			
		「英語Ⅱ」		2			
専門教育科目	基盤教育科目			16	4	/	必修 55 単位， A 選択 4 単位， S 選択 6.5 単位を 含む 65.5 単位以 上
	共通専門科目			2			
	プログラム群共通専門科目			35	/	6.5	
	プログラム専門科目						
	副専門科目（注）			2	/		
卒業研究着手に必要な最低修得単位数							89.5 単位以上
累積成績指標値							3.8 以上

注 副専門科目は、専門教育科目の「基盤教育科目」、「共通専門科目」、「プログラム群共通専門科目」、「プログラム専門科目」の自プログラムの卒業要件とならない科目で、副専門科目対象科目の中から受講すること。